2021年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年２月３日

上場会社名　　株式会社ドリームインキュベータ　　上場取引所　東
コード番号　　4310　　ＵＲＬ　https://www.dreamincubator.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役CEO　　（氏名）原田　哲郎
問合せ先責任者　（役職名）経営管理グループ長　　（氏名）上村　敏弘　　ＴＥＬ　03(5532)3200

四半期報告書提出予定日　2021年２月10日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第３四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第３四半期	19,935	19.3	△299	－	△268	－	△435	－
2020年３月期第３四半期	16,715	13.7	310	958.9	178	103.6	19	△86.8

（注）包括利益　2021年３月期第３四半期　83百万円（△77.8%）　2020年３月期第３四半期　378百万円（67.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第３四半期	△44.53	－
2020年３月期第３四半期	2.03	1.77

（参考）
調整後経常利益　2021年３月期第３四半期　191百万円
　　2020年３月期第３四半期　661百万円
調整後親会社株主に帰属する四半期純利益　2021年３月期第３四半期　△249百万円
　　2020年３月期第３四半期　216百万円

（注）当社は、当社の重要な子会社であるアイペットホールディングス株式会社(以下、アイペットHD)の完全子会社であるアイペット損害保険株式会社（当社における孫会社。以下、アイペット損保）に関して、普通責任準備金を未経過保険料方式により算定し、異常危険準備金繰入額の影響を排除した利益（調整後利益）を、損益実態を把握する上で有用な指標としております。参考では、調整後利益に基づく連結業績を開示しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年３月期第３四半期	29,691	15,006	36.2
2020年３月期	26,424	13,638	40.2

（参考）自己資本　2021年３月期第３四半期　10,761百万円　2020年３月期　10,627百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	0.00	0.00	0.00	0.00	－
2021年３月期	0.00	0.00	0.00		
2021年３月期（予想）				－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
　　2021年３月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

なお、以上の状況に加え、当社の業績を示す重要な指標として、Net Asset Valueの状況を決算補足説明資料に開示しておりますので、あわせてご参照下さい。

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

当社グループの事業は、ビジネスプロデュース事業及びインキュベーション事業から構成されております。ビジネスプロデュース事業は比較的将来の予測が立ちやすい一方、インキュベーション事業の一部につきましては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社　（社名）、除外　　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　無

④ 修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期３Ｑ	10,407,100株	2020年３月期	10,381,400株
② 期末自己株式数	2021年３月期３Ｑ	599,840株	2020年３月期	638,047株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期３Ｑ	9,785,118株	2020年３月期３Ｑ	9,776,865株

（注）当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、４ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

・調整後利益に関する説明

損害保険会社は、保険業法施行規則第70条１項１号に基づき、未経過保険料残高と初年度収支残高の大きい方を責任準備金として負債計上し、当事業年度の残高と前事業年度の残高の差分を繰入額として当事業年度に費用計上します。

アイペット損保では、現状、財務会計上は初年度収支残高によっていますが、当社ではアイペット損保の損益実態を把握する指標として未経過保険料方式による損益を重要視しております。その理由として、未経過保険料方式により算定された利益は、発生主義による利益と同額となるため、期間比較が可能となり経営実態を適切に反映していると考えております。一方で、初年度収支残方式は、収支相当の原則に立脚しており、当事業年度に係る保険料から保険金、事業費を差し引いた残額が、翌事業年度以降の保険金支払い等の原資になるという考え方であり、初年度収支残方式により算出された利益は、発生主義による利益とならないことから期間比較が出来ないと考えております。

また、上場企業のうち、初年度収支残方式に基づく損害保険会社が存在しないため、損害保険会社を企業集団にもつ競合他社との比較の観点からも、当社の業績を評価する上で未経過保険料方式により算定された利益が、投資家に有用と考えております。

異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、収入保険料の一定割合を毎期積み立てる責任準備金の一種であり、大蔵省告示第232号第２条の別表で記載されている損害率を超える場合に、その損害率を超える部分に相当する金額を取崩すこととされています。アイペット損保は損害率が基準よりも低いため、収入保険料に3.2%を乗じた金額を毎期積み立てております。

そのため、アイペット損保について、未経過保険料方式に異常危険準備金を加味した利益が、アイペット損保の経営実態を把握する上で有用な指標と考えており、それを基礎とした連結業績（調整後利益）は、投資家が当社の業績を判断する上で有用な情報と考えております。